

# インマヌエル中目黒キリスト教会 2018年1月14日第二礼拝

---

教会総会に備えて

「教会とは？救いとの関係」

エペソ人への手紙

2章1節～10節

梅田昇牧師

# 聖書朗読

## 新約聖書

エペソ人への手紙

2章1節～10節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 342 ページ

第三版の聖書は 374 ページ

- 1 あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、
- 2 そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。
- 3 私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。

- 4 しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、
- 5 罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです
- 6 キリスト・イエスにおいて、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました。
- 7 それは、あとに来る世々において、このすぐれて豊かな御恵みを、キリスト・イ

エスにおいて私たちに賜る慈愛によって明らかにお示しになるためでした。

- 8 あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。
- 9 行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。

10 私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。

# 説教

教会総会に備えて

「教会とは？救いとの関係」

エペソ人への手紙 2章1～10節

梅田昇牧師



< 第70次教会総会に向けて >

< エペソ人への手紙について >

今朝は、

「**教会とは何か？ 救いとの関係**」

という題で、教会と救いの関係に焦点を合わせます。





# ・過去の歩み(2章1～3節)

第一は、信仰者が過去にどのような生活を送ってきたかということです。

- A . 罪過と罪とに死んだ者 (1節)
- B . 世の流れに従っていた (2節)
- C . 悪の霊に従っていた (2節後半)
- D . 欲望のままに生きていた(3節前半)
- E . 怒りの子(3節後半)



# ・キリストによる救い(2章4～9節)

第二は、神のあわれみと愛の故に、救われたという事実です。

## A . 神のあわれみと愛の故に ( 4 - 7 節 )

しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛して  
4 くださったその大きな愛のゆえに、罪過の中に  
～ 死んでいたこの私たちをキリストとともに生か  
5 し、あなたがたが救われたのは、ただ恵み  
節 によるのです

# ・キリストによる救い(2章4～9節)

## B . 信仰によって ( 8 - 9節 )

### 8 節

あなたがたは恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことでなく、神からの賜物です



# ・救われた目的（2章10節）

第三に、私たちが救われた目的についてです

10節 私たちは、神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです

- A . 作品の意味
- B . 作品の目的
- C . 良い行いを通して  
神の栄光のために



おわりに .

主の十字架のゆえに、罪と闇の生活から救われ、神の傑作品とされている幸いを感謝し、主の栄光のために歩み続けようではないか。